

2. 被災地に根ざした節電への取組と連携した安全・安心なシステムの開発調査

1. 目的

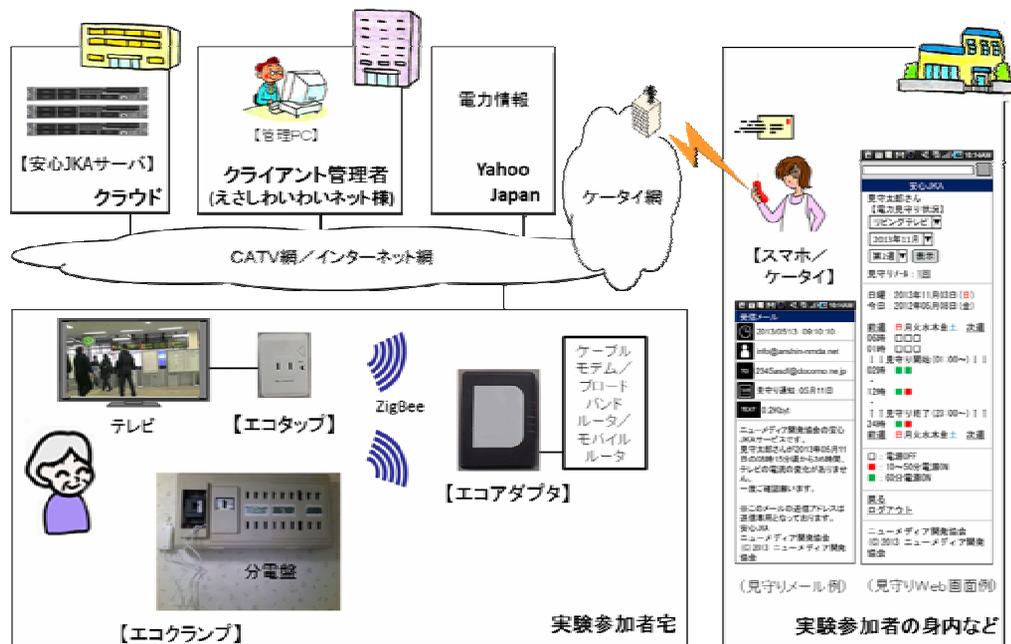
本事業で構築したシステムにより、一般家庭での節電効果を実証するとともに、電力見える化機能に付加したサービスを展開することにより、HEMS関連機器を継続的に利用していただくためのプラス機能の効果を実証することを目的とした。

2. 実施内容

簡易な測定機器による電力の見える化システムを構築し、各種センサーと連動して生活情報を取り込むことにより、見守りサービスも可能とするコンピュータプログラムを開発した。

このコンピュータプログラムを用いて、ケーブルテレビ会社と連携してモデル地域での電力消費量を収集し、節電の継続につなげていくこと、さらに、高齢者の見守りと防犯対応サービスとしても役立てることを検証を行った。

【システム構成及び実証実験イメージ】



3. 成果

実証実験参加者アンケートの結果、半数以上の家庭で節電効果が得られ、継続使用希望者も50%を超えるなど、電力使用量見える化サービスの有効性が確認された。

見守りサービスを始めた付加サービスによって、見える化サービスが飽きることなく使われ、また効果の持続性を高める狙いは、正しかったと評価できる。